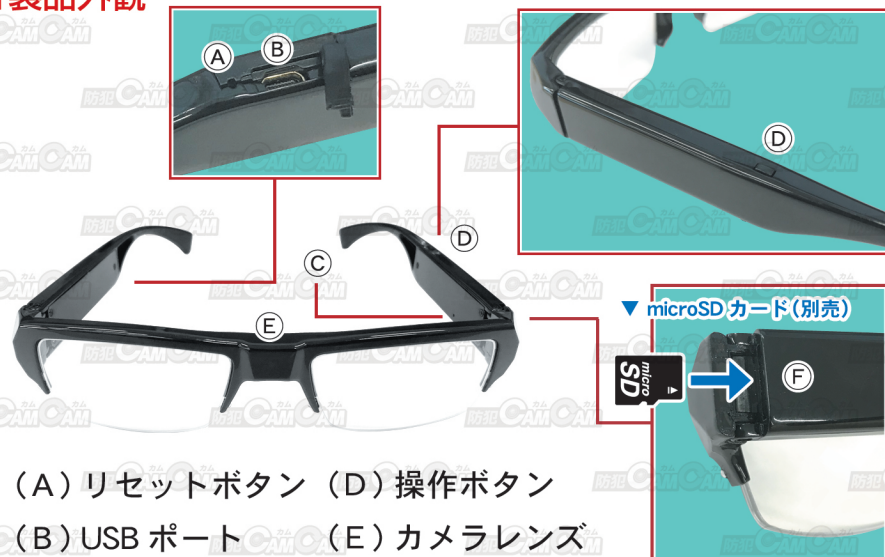


この度は本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用前に本書と共通説明書の両方をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。

本製品の使い方

緑字…操作に対する本体の自動反応 ※…補足説明や注意事項、その他備考など

製品外観



(A) リセットボタン (D) 操作ボタン
(B) USBポート (E) カメラレンズ
(C) 動作ランプ (F) microSD カードスロット

※製品の詳細なスペックに関しては、販売店舗掲載のデータテーブルをご確認ください。

本製品固有の注意事項

- * microSD カードスロットは部位のレイアウト上、SD カードを無理に押しこんだりすると本体の故障や microSD カードの破損をまねく場合がありますので、細心の注意を払われたうえで作業を行ってください。また、逆に microSD カードを本体から抜き取る際は、ピンセットをお使い頂くと取り外しやすく便利です。(こちらも誤ってピンセットでカードを傷つけないようにご注意ください。)
- * メガネのヒンジ部分を無理に広げないでください。本体の破損や故障に繋がる恐れがあります。
- * 顔にかけて使うという製品の仕様上、撮影は被写体から50cm離れた位置で行われてください。
- * 商品によっては電源投入後、放置することで待機状態がある程度続くと電源が自動的に OFF なる場合があります。その際は本書の手順に従い、再度電源を入れてご使用ください。
- * 本製品はメーカー側の都合により、一部デザインや製品仕様および機能、付属品の内容やランプの点灯色が異なったり、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

MEMO

■充電方法

1. 付属の USB ケーブルを本体の USB ポート (B) に繋ぎ、本体とパソコンを接続。
2. 動作ランプ (C) がオレンジ色に点灯 (充電中)。
3. 動作ランプ (C) が消灯 (充電完了)。

※充電は microSD カードを抜いた状態で行ってください。

※2時間を目安に充電されてください。

※充電が完了したら、過充電を避けるため、本体を取り外してください。

■電源を入れる前に

・十分に容量が空いた microSD カード (別売) を本体の microSD カードスロット (F) に挿入。

※破損を防ぐため、microSD カードの抜き差しは丁寧に行ってください。

※本体電源が入った状態で microSD カードを抜き差ししないでください。カードが壊れたり、中のデータが壊れる場合があります。(カード自体やデータの復旧・保証は致しかねます。)

■本体電源 ON

1. 操作ボタン (D) を約 3 秒間長押し。
2. 動作ランプ (C) がオレンジ色に点灯。(撮影待機状態に移行)。

■本体電源 OFF

- ・撮影待機状態中に操作ボタン (D) を動作ランプ (C) が消灯するまで長押し。
- ※30 秒間何も操作しないと自動で電源オフ
- ※動画撮影中に操作ボタン (D) を 1 回押すと電源オフ

■動画撮影

1. 撮影待機状態中に操作ボタン (D) を約 2 秒長押し。
2. 動作ランプ (C) がオレンジ色に点滅。
3. 動作ランプ (C) が消灯 (動画撮影開始)。
4. 動画撮影中に操作ボタン (D) を 1 回押し。
5. 動作ランプ (C) が消灯 (動画撮影終了)。
6. 動画撮影終了後、自動的に電源オフ。

■静止画撮影

1. 撮影待機状態中に操作ボタン (D) を 1 回押し。
2. 動作ランプ (C) がオレンジ色に 1 回点滅 (静止画撮影)。
3. 静止画を 1 枚撮影して終了。

■タイムスタンプ設定

1. microSD カード挿入後、本体とパソコンを接続。リムーバブルディスク内に「TIME.txt」ファイルを作成。
2. ファイル内に

2017-12-31 12:12:12 Y または
2017-12-31 12:12:12 Y の書式で記述し、希望の日時に書き換えて上書き。

※「Y→時間表示されます。」「N→時間表示されません。」をそれぞれ意味します。

3. 上書き変更したら、保存してカメラ本体をパソコンから取り外し、撮影を行うと変更が反映されて完了。

■撮影ファイルの確認方法

1. 撮影ファイルが保存された microSD カードを本体に挿入。
2. 本体をパソコンに繋ぐ。
3. パソコンがリムーバブルディスクを自動で認識。
4. リムーバブルディスク内に保存されたファイルをパソコンに保存。
5. パソコンに保存したファイルを確認。

※録画したファイルはできるだけパソコンへ移動したうえで閲覧されてください。移動しない状態で再生した場合に起こる、ブロックノイズの発生や再生不可を改善できる場合があります。